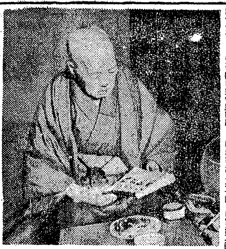
昭和二十四年一月十五日（土曜日）　上毛新聞　（第三種郵便物認可）　第二万一千百三十三號　（二）

八十五翁の自慢

明治廿三年の第一回総選挙以来

一ぺんも棄権しない



〝今の代議士なんて署名的な奴ばかりが多いやね、それだからショッペンしり大トラになったりするんだよ〟―と桐生市小曽根町二の二二〇〇須永房三郎翁は入歯もしてない口で元氣に選挙の思い出話をする、翁は慶應元年生れの八十五歳

明治憲法の第一回帝國議会の総選挙が行われたのが明治廿三年の七月一日、翁の廿六歳の時でそれから明治憲法二十一回、新憲法一回目だからこんどで二十三回目の総選挙、その間ただの一回も棄権したことがないという、だから棄権防止運動なんか翁には絶対不要、選挙管理委員会の表彰ものだ、選良の元老が尾崎咢堂翁なら須永翁は選挙民の元老

翁は埼玉縣妻沼在の生れ、廿九の年に桐生に来て青物商を始め青果物組合、副組合長を十五年間つとめた、漢詩、和歌、俳句は中々のもの、一つ近作をというと「開票にでもなったら一句よもうか」とうまく逃げられた

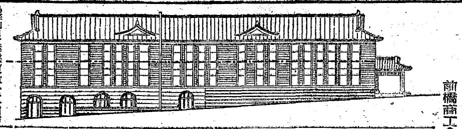
〝昔〟候補者〝誠意があったよ、足尾鉱毒事件の田中正造なんて偉かったね、今は出来もしないことばかり大言壮語してさ、ワシはね政党政派に偏したことはなかったよ、人格者を選ぶのだ〟と奥の間の戸棚から大正十一年起草の〝[illegible]閑漫録〟を取り出してなつかしそうに読む、市政批判、市議[illegible]の思い出の自筆の文字がぎっしり書いてあった

翁など同志の公会堂、図書館設立運動で図書館は出来たが公会堂は今でも出来てない〝ワシの目の黒いうちは出来ないねアト〟若い者に頼むよ、こんな桐生で恥しいからね〟思い出話は次から次へ

〝今度は最後の投票さ、死ぬ氣で入れに行くよ〟―今、小曽根町の息子、[illegible]二郎さん（五二）の家に孫、曾孫[illegible]八人暮しの楽隠居、本を読むのに眼鏡もいらない、[illegible]者だ（写真　[illegible]する須永さん）

総工費一千六百万円で

前橋商工会議所の新築設計圖



陽春四月に総工費予算一千六百万円で着工されることになった縣貿易会館と前橋商工会議所はその設計図に見るような東洋風を加味した洋式木造二階建（一部地階を含み三階）カワラぶき建坪五百十坪の堂々たるもので遅くも年内に完成の予定だが完工すれば縣都の表玄関駅前通り十字路（元会議所跡）に一偉観を添え生糸と絹織物群馬の商工経済面に数多くの役割を果すものと縣民の期待は大きい

建物の内容は地階六十坪で自由食堂と調理室、一階二百卅九坪が商工会議所、貿易品陳列所、事務室、應接間、新聞記者室、予備室、小集会室などで二階二百十一坪は大ホール、食堂、貿易資料室、談話室、銀行協会、予備室などがそれぞれ特徴を備えて設けられる、外部はタイル張りで内部は大理石[illegible]シックイと板張り、天井はシックイと[illegible]張り、腰はパネル、巾木付、床は[illegible]リング張りのリノリユーム[illegible]で内外部ともに木部はニス[illegible]ペンキ塗りの近代的モダン[illegible]である（凸版は西側の設[illegible]）

通勤者の便に

貨物に客車連結

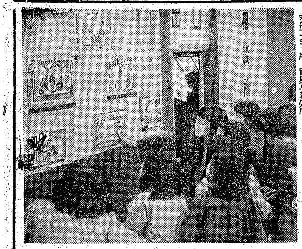
官鉄の四八時間制実施にともない國鉄では十七日から次の貨物列車に客車一両の連結運転を行い通勤者の便宜をはかる

◇高崎発前橋行十五時四[illegible]十六時十三分着、前橋発[illegible]十七時廿七分発、十八時[illegible]

一目で前橋

社會科の勉強に小學生でにぎわう

展示會ひらく



戦後立直りつつある市の姿を十万市民に公開する前橋市勢展示会は十四日朝九時から市内の盛り場オリオン座前で店開きした、待ち構えた市民が急ぎバラック建の会場に溢れる盛況で市当局の努力で巧みに図案化された統計図や住宅の構造、都市計画後の市勢圖などに見入りそれぞれ市政内容を検討していた、大人にまじって社会科の勉強に小学生や中学生が団体で見学し市予算図表を見ながら「警察、土木、教育、治安、水道、建築などの予算[illegible]較し推移を現わした面が大き[illegible]はどうした訳か」と大人も気付かぬところを質問するなど全市民の市政研究に資し意義深い催しとして歓迎されていた、同展は十六日まで続けられ十八日から市内五映画館でアメリカの建築映画を公開する

（写真は市勢展会場）

縣下の成人式　八十四市町村で挙行

二月三月には更に七十カ町村

きょう十五日は成人の日として縣内各地で成年式が行われる、成人式は昨年利根の古馬牧村がトップを切って昨年度は桐生その他十八カ市町村で行ったが今年からは成人の日制定で縣内八十四カ市町村で行う、引続いて二月三月中に七十カ市町村が行う計画をたてているので縣内では百五十四カ市町村が挙式することになる

室田町　十カ月の成人祭に[illegible]

[illegible]めナプキン、[illegible]せっけん粉からピン止まで組合せになっているがこれらの品々は近く全國四[illegible]支部の附属産院へ送るほか一[illegible]災害時のために貯蔵することになった（共同）

記念品とバッジを贈る

澁川の成人式

澁川町の成年式は十五日朝十時から小学校で行う、自治会連合会長谷名知政氏の開会の辞に始まり成年者代表へ西田町長から記念品と成年を象徴するバッジが贈られ、父兄姉妹が代表して[illegible]ウメさんが祝辞を述べ午後は幼稚園児や楽団演奏でくつろぎ、夜間は團楽会館で草場弘氏の講演会が開く、成年者は男百三十八名、女百八十七名である

[illegible]鶴の集い

石門心学会[illegible]部では十六日朝十時半から会友の親睦をかねて「新年支部開新会」を前橋市石川町一四年問題研究所で開く、当日は支部長自作のチョボクレ「心学のすゝめ」「嫁と姑」や心学[illegible]津梅等の披露がある

きょう〝成人の日〟

新しい意味の〝元服〟

十五日、日本の新しい祝日「成人の日」に当る、子供、大人になったことを自覚し社会[illegible]

これを祝う日で各市区町村の公民館や学校等、若人を祝福するいろいろな行事が一齊に行われる、むかしの「元服」に似て「成人の日」を新しい祝日に加えることは、いろいろ議論の種をまきはしないかと、昨年の秋國会で文化委員会で[illegible]時に問題になったが、結局新しい日本に新しい人材、必要とする建前から、昔の良い例なら大いに若い人達を励まし祝おうと[illegible]議一決したいきさつもある、民法と選挙法で満二十歳、児童福祉法、労働基準法などが保護しても[illegible]ならず、しかし必ずしも成人の日として自覚を持ち得る年齢になれば誰でも祝福されて、子供から大人になるという区別は、昔から元服、裳着、髪上げの儀式があって、武士階級や上流階級だけでなく一般の庶民階級まで広く行われていた、明治に入ってから、徴兵検査がこれと変った役割を果していたが、そのゆかしい伝統が成人の日で再び引継がれたわけである、一月十五[illegible]

高崎公委で表彰

高崎市公安委員会と高崎署では廿三年度署員の総合成績、犯罪検挙成績、経済取締成績の優秀者第一回表彰式を十四日行った ▽公安委員会賞秋山和子（青少年係）▽総合成績優秀者荒井春雄（刑事）菊地清昭（経済）本多勝平（経済）手島利雄（経済）ほか一名▽犯罪検挙成績優秀者中田正一（刑事）高橋実（刑事）ほか二名▽経済取締成績優秀者戸塚仙十郎（経済）田村清司（経済）高橋兵吾（経済）ほか五名

小野村公會堂焼く

十三日朝五時廿分ごろ多野郡小野村上原須公会堂兼[illegible]組合事務所から出火し平家建一棟と同所施設の消防ポンプを焼いた、損害約廿万円、[illegible]の煙草の吸がらしい

村から町から

前橋市　前橋、カム、カム、クラブでは十六日朝九時から市立三中で軍政部ミス・ハブスンの指導で英会話練習会を開く、一般の参加歓迎

▽商工会議所商業第一部会正副部長改選は十二日会議所で開き新部長に新保喜兵衛氏を押し副部長二名は部長一任となった

伊勢崎　地区推進協議会主催農地祭は廿日朝十時から市役所で開き農地改革に協力した地主柳沢栄一氏ほか四十名に記念品を贈る

多野郡　町村長会は十七日正午から多野会館で新年懇[illegible]

▽地方事務所では月末までの予定で一歳と二歳を除き総合パン一人六食の配給指令

▽藤岡町土木委員会は十三日開き夏季冠水防止に役場裏側[illegible]水路二百八十間の改修と町内不良道路に砂利をひく

碓氷郡　安中職業安定所の新制中学卒業生就職斡旋[illegible]務打合会は十九日土木出張所で開く

利根郡　地方事務所では十七日朝十時から利根農村工業振興協議会を開く

山田郡　桐生職業安定所では十四日大間々町役場で労務加配米を協議

▽山田郡労用具配給委員会は十七日朝十時から大間々町役場

▽町村長会は十八日朝十時から地方事務所で食糧検査と建築促進の協議をする

日本語のうまい傳道師

はるばる高崎へ

日本にキリスト教の伝道に来たライモンドプライス、岡内孝二[illegible]名は十二日高崎市役所を訪れ[illegible]を求めたが小島市長の計いでトントン拍子に運み本月中旬市商工会議所の三階で毎日曜十時から日米語による日曜学校を、毎金曜日の夜七時からは英語会話の練習会を開くことに決った、なお両外國伝道師は現米國上院議員で親日家のエルバート・D・トマス氏の紹介で特に本縣に派遣されたもので両氏とも非常に日本語がうまい（写真は小島市長と両伝道師）

二人の社長、もめる[illegible]製糸

（既報）社長派と地元[illegible]のあつれきが表面化して泥試合を続ける群馬[illegible]製糸工場では旧ろう重役会の決議で吉井社長を完全に締め出し元縣蚕糸会長伊藤源二氏を新社長に推した、これに対し吉井社長派ではこの決議は一方的で、しかも期日無効だと譲らず一工場に社長が二人もできる両派ともお互いに計理士を雇入れて帳簿や書類で抗争している

伊藤派の言分　吉井社長の工場運営には経理面になにか暗いところがあって安心して任せられない

吉井派の言分　重役といっても株金もろくろく払込んでいない名義重役が多い、株を[illegible]

縣出身のニューフェイス

近く縣下へロケに　既報東宝映画三宅プロ第一回作品〝逃走四十九日〟は選挙終了をまって縣下でロケを始めるがこの映画にニューフェイスとして初出演する斎藤由利子さん（一九、佐波郡境町）は境高女出身で鈴木美智子・[illegible]ミドリに扮し活躍する（写真は斎藤由利子さん）

映畫　大島情話

「佐渡情話」と同じ傾向の映画、女と島を逃げた夫（月形龍之介）を五カ年も待った妻（花柳小菊）がふとした機会から知り合った旅商人（坂東好太郎）と恋をする、そこへ突然に夫が帰って来るが二人の仲を聞き知った夫は二人の幸福を祈って島から姿を消す

▽脚色、演出ともに新鮮味の乏しい浪曲劇で従来のものに民主的な結末を与えているに過ぎないメロドラマ、演出（木村恵吾）は平凡的ではあるが割合に破たんなくまとめ上げている、人間性の掘下げの足りないため印象浅いものになった、その原因は構成の拙さにもっと現代色を取り入れてこの種のもの、型を破ってほしかった、往年の作品のように勝太郎や米吉に一席やらせているので平凡な古めかしいものになったが実写的なカメラの美しさがこれを幾分カバーしている、演技者は役がら相当な演技を見せているが低調な興行作品＝安（前橋、高崎電気館上映中）

懸賞論文　新しい警察の在り方

「新警察制度実施一周年」の日、三月七日を記念して「新しい警察はどうあればよいか」社会一般から見た警察に対する本当の声を聞くために次の投稿規定によって懸賞論文を募集します

主催　縣公安委員會協議會

後援　上毛新聞社

投稿規程

❶題　自由、内容は具体的のもの❷原稿　四百字詰三十枚以内❸締切　二月十日❹発表　三月一日本紙上❺賞金　一等三千円（一名）二等二千円（一名）三等[illegible]円（[illegible]名）一等から三等まで上毛新聞社賞、右の内四編を東京で更に審査し優秀作品には一万円以下の賞金を呈す❻送先　群馬縣警察本部内國家地方警察群馬縣本部秘書企画課あて

望郷歌（55）

井上友一郎

画　櫻井悦

奈落（二）

薄暗い水色の光りが、ほんのりと流れていて、キャバレ・シャルマンの踊場では、五六組の男女がワルツを踊っている。

純白のイヴニングが、その照明のせいで、淡いブルウのように見えた。

他の客は、この踊場の壁際に並んで置かれた長イスや、ひじ掛イスにぼんやりもたれて、ダンサーを相手に、洋酒やビールを飲みながら、他愛ないおしゃべりに興じていた。

ワルツが終った。

バンドの連中が、どやどやと立ちかかると、さっそくボーイが現われて、こんな口上をマイクで言った。

「それではただ今よりショーを御覧に入れますが、ありきたりの平凡なショーで御満足のいかない方が、多数いらっしゃいますならば、特にキャバレより、出演の方々におねがいして、特別な演技をやって頂くことにいたします。ついては、その出演者への特別な手当として、皆さま方より、お一人百円ずつ、これから集めさして頂きますから、どうかよろしくおねがいいたします……」

口上が終ると同時に、拍手が起った。すると、別なボーイが、大きな銀のお盆を[illegible]て、すわっている客の前を歩きだした。

だれも、文句なしに百円ずつ、お盆に乗せた。

ボーイは一回り金を集めて、さっさと奥へ入ってしまうと、さっきの口上をしゃべったボーイが、もう一度マイクの前に現われて

「予定通り、集まりましたそうで、御賛成、ありがとうございました。――それではただ今から始めます」

チラとバンドに合図して身をひるがえすように物陰へ隠れると、客は一せいに拍手しながら、薄暗いフロアの一点に眼を注いだ。

その間に、青楽バンドの連中が、太田垣を先頭にして、ぞろぞろと入ってくる。

定めの席について、マイクをいじったり、楽譜台を直したりして、しかつめらしく居並んだ。

と、同時に、向うのカーテンにひそんでいた八千代が、サッと白い肉のかたまりのように、飛び出してきた。

長い、細い、布のような照明が、その八千代の身体にだけ、集中する。

再び、客席ではく手が起った。すると、続いて、久子が飛び出し、やはり、その白いスポット・ライトのなかへ捕えられた。

「マスクを取れよ！」

「腰みのなんか……」

などと、興まった声がイスから、おどけたような声が掛った。一同が、クスクス笑った。しかし、久子は、奇麗なマスクの穴から、この痴けたような中年の男たちを睨みながら、夢中になって、フロアの上で踊りだした。

腰みのが、バサバサと音立てて、ゆれ、首につるしたレイが、裸の肌をチクチク刺した……。

ウーマンス　デイ

何事も自由ばやりの世の中に最も目立つのは若い男女交際のように言われて居ります、元々男女は大なり小なり世の中で扶け合って行くものなのでありますから幼い時からよき交際によって相互の理解を深める事は大切な事でありますけれどもそれは飽くまでも賢い明るい正しい交際でなければなりません、一人対一人の交際でも団体としてでも純真なものでなければ、あたら自らの若さを汚すものと申せましょう、お寒い折柄青年男女の温泉旅行などもあるらしうございますが若い方々だけで泊りがけで行かれる事はその方々の人格が高ければ高いほど慎しむべきものではないでしょうか、常識から考えましても泊りがけの旅行の場合は欧米やフィリッピンにもあるシャプロンと呼ばれる年配の婦人が責任を以て同行することが望ましいことであります、以前或る外国の良家の娘さんがちゃんとシャプロンがついて外出して、米兵との交際に非常に礼儀正しくしっかりしていたことを体験したのを聞きましたが敗戦国の恥を拂い落して下さる大切な若い男女はその交際方法にも一段と注意を拂っていただきたいものであります

時の話題

二[illegible]日伊勢崎税務署で署員の採用試験をしたところ志願者[illegible]名中廿七名が合格したが、資本主義と社会主義が常識問題で出たところ、満足な回答は一つもなかった ▽曰く資本主義とは資本家のためのもので断じていけない、社会主義は社会的だからよいといった程度の点のものばかり、算数では六十点が五人、五十点二人、四十点二人、十点十六人、三十点十人、一点、ナンド十人もあった ▽受験者はいずれも旧制中学、女学校卒業生と新制高校卒業見込者だけで、ご本人も日ごろはなんとか、かんとか屁理屈はこねるが、いざとなるとクダンのとおり、今の学校教育も大したもんじゃないと承知はしているがネ…

今日の天気

北寄りの風晴、時々くもり、晩、明日とも北寄りの風晴

玉風勝つ　三日目勝負

序の口　玉風（群馬）荒熊（熊本）

十[illegible]下　岩木山（寄棄）昭錦（群馬）

十両　[illegible]浦（打棄り）赤城山

中入後

時津浪（下手投）[illegible]錦

大起（上手投）柏戸

緑國（腰落し）相模川

吉葉山（外掛け）山口

大内山（寄倒し）梅錦

清恵波（上手投）二瀬山

國登（寄切り）愛知山

藤田山（送り出）羽衣

九州錦（叩込み）大[illegible]潟

若勝岩（押出し）緑島

十[illegible]岩（寄切り）明瀬川

大熊（下手投）大ノ海

名寄岩（寄倒し）八方山

琴錦（上手投）岐阜錦

四日目取組

十両　東　朝見山　赤城山　西

中入後

東	西
宮城海	櫻錦
緑國	伯戸
若瀬山	相模川
山口	二瀬山
國登	羽衣
愛知山	大起
藤錦	清恵波
大内山	藤田山
大蛇潟	大熊
明瀬川	緑島
大ノ海	岐阜錦
若湊	名寄岩
琴錦	八方山
清水川	鏡里
九州錦	五ツ海
出羽錦	十勝岩
不動岩	羽瀬川
若瀬川	栃錦
汐ノ海	力道山
神風	千代山
佐賀花	備州山
輝昇	増位山
前田山	吉葉山
東富士	三根山

柔々有段者會

群馬柔道クラブと群馬縣柔道有段者会本部では十七日午後二時前橋市岡曲輪町館エクラブに合同の新年初幹部会を開き縣下全支部長顔覧伊能知事の他参與など五十八名参集、本年度東西対抗試合、関東六縣大会その他について協議する

ラジオ　15日

時刻	番組	出演
10.05	小説のコロちゃん	大阪劇団
10.15	お話	倉橋惣三
11.00	雪の障子	梅村治子
0.30	新人の邦楽	伊藤松磯他
2.15	土曜コンサート	近衛秀麿
3.00	講談「杉山検校」	田辺南龍
3.30	春場所大相撲中継	
5.15	万次郎漂流記⑬	文学座
6.00	素人の哲学②	東放劇団
6.30	群馬縣[illegible]放送	
7.15	歌の明星	小梅
7.45	二十の扉	加藤治郎他
8.45	音楽の贈物	砂原美智子他
9.15	とんち教室	金馬・春声他
9.50	音楽お国めぐり	仙台
10.00	お笑いの時間	ヤジロー他
◇第二放送◇		
2.00	春場所大相撲実況四日目	
3.30	特集録音「消防出初式」	
6.30	吹奏楽と合唱	早稲田大学

日本一　富士自轉車
東京・大阪・名古屋
株式會社　日米商店

警察官　志願通信教授
受験合格資格[illegible]円
新聞名記入小為替同封申込下さい
東京都下谷局区内谷中坂町十四
東京台東警友会通信教授部

旅行の御相談は
上州観光
[illegible]

HAPPY NEW YEAR　昭和24年　謹　賀　新　年　1949年　HAPPY NEW YEAR

北甘樂郡　一ノ宮町
町長　茂木六次
助役　吉田栄三郎
収入役　淸水茂三郎

北甘樂郡小幡町
町長　細谷伊津岐
助役　松浦亮一
収入役　吉田宇藏

北甘樂郡　吉田村
村長　武田金処
助役　大河原英次郎
収入役　相川光吉

株式會社　富岡電氣館
取締役社長　乾仲次郎
北甘樂郡富岡町
電話一二八番

富岡東宝映画劇場
電話富岡二四一番

東宝映画　新星館
電話下仁田六一番

製薬　山田治平
電話富岡一一五番

サマタ藥局
富岡町横丁

木工界の大スター
家具・建具・木工品
富岡興業株式会社
工場長　田村壽
富岡町一七七三
電話一三九番

澁川旅館組合
組合長　山田壽平治
副組合長　大谷甚太郎

加藤土建株式会社
取締役社長　加藤源治
群馬縣澁川町・電話（澁川）二五一番

土木建築請負業
株式会社　篠原工業所
取締役社長　篠原榮一
事務所　群馬縣澁川町・電話澁川二七二番

（營業課目）
一般貸切貨物自動車運送事業
一般積合貨物自動車運送事業
北毛自動車運送株式会社
群馬縣澁川町1736番地

南興実業株式会社
代表者　南雲芳郎
群馬縣澁川町大崎
電話（澁川）305番

榛名土建工業株式会社
群馬縣群馬郡澁川町一八八九番地
電話（澁川）二二四番

土木建築設計請負業
鉄筋コンクリート
株式会社　澁川出張所
出張所長　須之内平
澁川町辰巳町・電話（澁川）三三九番

北部土建工業株式会社
取締役社長　須田壽三郎
群馬縣澁川町1715番地
本社　電話（澁川）267・328番
出張所　電話（沼田）162番

アヅマ電氣工業株式会社
取締役社長　槽五郎
専務取締役　星野幹雄
常務取締役　中村美雄

北群馬澁川信用組合
組合長　佐鳥俊一
群馬縣澁川町二四〇三番地

関東製鋼株式会社
代表取締役社長　賀田秀一
常務取締役澁川工場長　岡理壽雄

関東電氣工業株式会社
群馬工場
取締役社長　伊藤二郎丸
群馬工場長　齋藤信太郎
群馬縣群馬郡古巻村字半田2470番地

岡本土木株式会社
取締役社長　岡本仁三郎
本社　群馬縣群馬郡澁川町　電話（澁川）72番
支社　吾妻郡坂上村大字大戸　電話（大戸）13番

関東電化工業株式会社澁川工場
代表取締役社長　浦野三朗
取締役工場長　高瀬理三郎

株式會社　群馬大同銀行
澁川支店
支店長　羽鳥久雄

澁川町
町長　西田耕作
外吏員一同

昭和24年　新生文化日本の新年を祝す　1949年

多野郡

多野地方事務所
所長　廣津寅雄

藤岡町
町長　中島泰助

神流村
村長　井本菊雄

新町
町長　茂木傳八

小野村
村長　栗原俊夫

八幡村
村長　石井定雄

美土里村
村長　小山角太郎

平井村
村長　富田英樹

美九里村
村長　北野重平

三波川村
村長　飯塚馨

吉井町
町長　松井金藏

多胡村
村長　大沢要八

入野村
村長　羽切廣吉

日野村
村長　町田忠太郎

美原村
村長　榊原鷹司

中里村
村長　今井総平

上野村
村長　塚田武雄

群馬縣信用農業協同組合連合会多野支所
支所長　滝沢竹次

群馬縣販賣農業協同組合連合会多野支所
支所長　橋本輝雄

群馬縣購買農業協同組合連合会多野支所
支所長　吉野益

群馬縣生産農業協同組合連合会多野支所
支所長　高橋良策

全群馬縣養蚕販賣農業協同組合連合会多野支所
支所長　塚本要藏

群馬縣園芸販賣農業協同組合連合会多野支所
支所長　高橋良策

多野郡養蠶農業協同組合
組合長　田村一郎

多野郡畜産農業協同組合
組合長　今井総平

多野郡新炭農業協同組合
組合長　羽切廣吉

藤岡町農業協同組合
組合長　塚本要藏

神流村農業協同組合
組合長　高山巖

新町農業協同組合
組合長　茂木元名

小野村農業協同組合
組合長　柳沢基雄

八幡村農業協同組合
組合長　飯島丑五郎

美土里村農業協同組合
組合長　氏家巖

平井村農業協同組合
組合長　高山武十郎

美九里村農業協同組合
組合長　関口源藏

三波川農業協同組合
組合長　飯塚馨

吉井町農業協同組合
組合長　田村一郎

多胡村農業協同組合
組合長　仲沢七太郎

入野村農業協同組合
組合長　油井原義一

日野村農業協同組合
組合長　小板橋武重

美原村農業協同組合
組合長　栗本武十郎

中里村農業協同組合
組合長　山口彦樹

上野村農業協同組合
組合長　神田粂吉

多野八幡村農業協同組合

油糧公團群馬縣農業協同組合連合会指定工場
多野食品加工株式会社
藤岡電氣館跡・電話四二番

動力撚毛・毛織加工
武藤製作所
所長　武藤木平
多野郡吉井町・電話七四番

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。